全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内（〒100-0013）
全国税労働組合
発行人　山本　浩二
電　話（03）3581－3678
ＦＡＸ（03）3507－0886
振替口座　00140-2-68514

人勧特集

# ２％賃下げで地域・世代間格差を拡大

## 生活実態無視の寒冷地手当改悪を強行

8月7日、人事院勧告が出されました。改善がされた一方で「総合的見直し」で改悪も盛りこまれています。
今後は国公労連とともに、政府間交渉で、問題点を解消させていく運動を展開させていきたいと思います。
「何が問題なのか」を掲載します。

### 給与制度の総合的「見直し」原資は一律２％の賃下げ

今回の勧告で最大の焦点となったのは、人事院が昨年の報告で打ち出した「給与制度の総合的見直し」の具体化でした。その大きな柱の一つが「地域間の給与配分の見直し」です。

過去3年間の賃金センサスの平均で民間賃金水準の低い12県（全体の4分の1）をグループ化し、給与格差が2・18ポイントあるとして、行(一)の俸給表水準を平均で2％、3級以上の級の高位号俸者は最大4％引き下げました。

賃金センサスに基づき指定基準や支給率の修正（別表）を行いましたが、引き下げ分を地域手当に再配分し、俸給と地域手当の合計額で現行の賃金水準を維持しようとするものです。

しかし、地域手当が支給されないままの地域は、引き下げ分のみが押し付けられることです。

また、引き下げはすべての国家公務員の退職手当を含めた生涯賃金を引き下げることです。

### 地域手当、最高20％

東京都の特別区が20％（2015年は18％）になるほか、これまで無支給地だった31市町村が支給地になりました。税務署所在地では、関信局栃木・真岡・新潟・伊那署、東京局木更津署、名古屋局藤枝署、高松局徳島・鳴戸・阿南・坂出署が該当します。

支給率の変動では、最大7％になります。また、級地区分の変更が149市町村にも及び、使用するデーターの不安定さが明らかとなり、全国一斉の安定した公共サービス提供が求められる公務職場の実態を踏まえれば大きな問題です。

### 寒冷地手当の矛盾

寒冷地手当は、2004年勧告で気象データーをもとに、平均気温と最深積雪量を要素とする区分に改められ、大幅に削減された経過があります。

現在の支給地は1～3級地となる北海道と、4級地は本州の①平均気温0度C以下かつ最深積雪15ｃｍ以上②平均最深積雪80ｃｍ以上の市町村を支給対象地域としています。

また、官署の所在地が本州の支給基準に該当する場合、官署指定により支給対象としています。

国公労連は、燃料費の高騰などが、寒冷積雪地の生活を直撃している状況を踏まえ、引下げに反対するとともに、生活実態や物価状況等が反映される制度として、改善を求めてきました。

今勧告では、支給区分決定の根拠となる気象データーを更新し、支給地域の「見直し」が行われました。

「見直し」により、北海道内は1～3級地の中で上下し、支給額が月額最大4000円程度減少する地域が発生しました。

より深刻なのは4級地（本州）で、支給地域がはずれる地域では、最大月額17，800円（世帯主、扶養家族有）の手当が支給されなくなります。

国公労連の運動の成果で、支給地域を外れる地域では、段階的引き下げ措置が取られるほか、可能な限り官署指定で支給地域を維持していくとしていますが、2004年勧告で支給地から外れた一部地域はそのまま置き去りにされました。

たとえば燃料高騰を言うならば、福島市でも灯油代が4～5年前の3～4倍に跳ね上がっており、除染費用負担等の上乗せとして家計に負担をかけています。

また、積雪地域で言うなら、日本有数の豪雪地域として有名な上越市も、市町村合併で支給地域の妙高市と境界が複雑に絡む中でも、はずされたまま見直されていないと言う矛盾が残りました。

### 再任用職員の給与改善見送り

再任用職員の給与については昨年3月に「国家公務員の雇用と年金の接続について」閣議決定され、再任用職員の今後の職務や働き方の実情を踏まえて給与制度等について必要な検討を政府から人事院に要請がされました。

人事院は民間の動向等を適切に把握して対処するとしていましたが、結果は、較差を認めながらも改善を見送りました。

人事院は、短時間再任用が約7割を占め、補完的業務を担当することが一般的との認識を示していますが、実態とかけ離れています。

雇用と年金の接続に関する2011年の「意見の申し出」において、定年延長を求め、給与水準については、民間では賃金のほかに在職老齢年金や雇用保険の高年齢雇用継続給付金が支給されることから、60歳前の給与の7割の確保を求めており、生活保障の点からも当然賃金改善すべきです。

### 税務水準差率は微減で維持

「税務水準差」を分かり易く説明すると、他の行政職と税務の職場と比較した場合、専門性・困難性に配慮し、税務俸給表が独自に作られています。

全国税は、人事院や当局に対し、税務水準差は「税務職の評価にかかわる重要な問題」として、引上げを要求してきました。

残念ながら、過去最大25％あった水準差は、10％を切って久しくなりますが、「これ以上の引き下げは許さない」と、要求し闘ってきた成果が、人事院に歯止めをかけてきました。

今後も引き下げを許さない闘いを継続します。

**地域手当級地一覧**

| 級地区分 | 現 行 | ➡ | 見直し後 | 2015年支給割合 |
|---|---|---|---|---|
| 1級地 | 1級地（18%） | ➡ | 20% | 18% |
| 2級地 | 2級地（15%） | ➡ | 16% | 15% |
| | 3級地（12%） | | | 13% |
| 3級地 | 2級地（15%） | ➡ | 15% | 15% |
| | 3級地（12%） | | | 13% |
| | 4級地（10%） | | | 11% |
| 4級地 | 3級地（12%） | ➡ | 12% | 12% |
| | 4級地（10%） | | | 10% |
| | 5級地（６%） | | | 8% |
| 5級地 | 4級地（10%） | ➡ | 10% | 10% |
| | 5級地（６%） | | | 7% |
| | 6級地（３%） | | | 5% |
| 6級地 | 5級地（６%） | ➡ | 6% | 6% |
| | 6級地（３%） | | | 4% |
| | 非支給地 | | | 2% |
| 7級地 | 6級地（３%） | ➡ | 3% | 3% |
| | 非支給地 | | | 1% |

※ 2016年以降の支給割合は未定

**■級別水準差率の前回比■**

| | 2012年勧告 | | 2014年勧告 | |
|---|---|---|---|---|
| | 在級人員 | 水準差率 | 在級人員 | 水準差率 |
| 1級 | 6,167 | 16.32% | 5,074 | 15.13% |
| 2級 | 4,190 | 12.60% | 5,124 | 12.42% |
| 3級 | 5,341 | 11.21% | 4,842 | 11.22% |
| 4級 | 10,449 | 9.88% | 9,104 | 8.86% |
| 5級 | 13,731 | 8.70% | 13,595 | 9.16% |
| 6級 | 11,765 | 7.43% | 11,716 | 7.92% |
| 計 | 51,643 | 9.48% | 49,455 | 9.45% |
| 金額 | 31,700円 | | 31,800円 | |

**“税務の職場”何でも110番**

zenkokuzei@aol.com

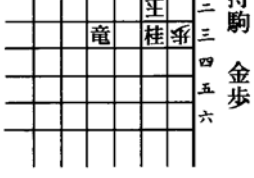
全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも一一〇番」を常時設置しています（電話とＦＡＸは上記の番号までどうぞ）。

◇全国税ホームページ◇
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

**詰将棋**

〈出題〉九段　西村一義
中級クラス
〈ヒント〉自然な手順が続きます。
（10分で初段）

持駒　金歩




**そろばん弾**

パソコンの基本ソフトOS、ワープロなどのオフィスソフト、無料ブラウザ、無料メールアカウント、無料クラウド容量など、競争が激しい中やはりアメリカの企業が覇者となっている▼日本政府がアプリのオープン化を目指し、中国政府が外国製OSを排除しようとしているが「市場」に勝つことは難しい▼しかし、消費者（ユーザー）も市場原理だけで行動してよいのだろうか▼かのNSAが通信傍受および解析法の頼りにしているのは、大手IT企業のビックデータの収集・蓄積や処理方法（クッキーの利用など）であるという▼インターネットを利用していても、「チェンジ」のオバマ大統領さえ追認している現状は、本当に怖い。

# 「第53回山の集い」開催される

第53回山の集いが、8月6日(水)～8月9日(土)新潟県妙高山(2454 m)で開催され、東京地連・関信地連・近畿地連の組合員や組合員ＯＢなど19名が参加しました。次回は近畿地連主催で開催予定です。

妙高市営・高谷池ヒュッテ横にて

## 雨と雷鳴のつどいでした

写真の通り、今年の参加も「中高年登山隊」となりました。

恒例の北アルプスの山ではなく、関信地連の地元、新潟の妙高山・火打山踏破の新しい企画でした。

出発地は麓の燕温泉の鄙びた温泉宿から。参加者全員が前泊し、翌朝の7時46分に宿を出発。妙高山の頂上2454mとの標高差は約1000m。急坂、悪路が続きますが、12時頃までには妙高山の頂上に。気が付けば1000mを登り、頂上からの展望が望めるという快感は最高です。

途中で交差するパーティとのエール交換も山の醍醐味の一つ。

今年は妙高山の頂上から山小屋への下りがたいへん。天候急変で雷雨となり、平地でも怖い雷鳴を間近に感じながらの山行は全くの初体験。それでも全員無事に宿に辿り着き、交流会では怖い思いも話の材料になるなど登山を満喫できました。

## 嫌韓ではなく、好韓になる楽しいブックレットができあがりました！

全国税労働組合・日韓連帯委員会は、韓国の税務職員との連帯と交流を深めていこうとしている組織です。他の組合の方やフリーの方もいて自由な雰囲気で、韓国語と韓国の歴史や情勢の勉強会をやっています。その活動の中で、韓国の民主化とその過程の中で作られた映画とドラマを紹介・解説した本『「初恋から」ノ・ムヒョンの死まで』の著者で恵泉女学園大学教員のイ・ヨンチェ（李泳采）さんの講演会を2月25日に開催しました。

最近作られている作品群は、民主化が進み日本と変わらない男女の機微、世代間の意識の差、経済的格差を反映して描かれており面白いと思います。

今回、この講演を収録し、あわせて参加者の感想も掲載したブックレットを作成しました。この機会にご一読いかがですか。是非、よろしくお願いします。Ａ5判34頁。

ご希望の方は、全国税本部・塩谷までご連絡ください。

# その他の人勧要旨

### 通勤費持出し改善せず

今回の勧告で、人事院は民間と10％以上の格差がある、交通用具利用者の通勤手当を100円から7100円まで引き上げましたが、当然の措置です。反面、全国税が人事院本院に具体例をだし要求してきた通勤費持出しについては、何ら触れられていません。

この人事院の姿勢から、持ち出しをさせる当局の配転政策を改めさせなければなりません。

### 単身赴任手当増額

公務が民間を下回っているとし、基準額を現行の6千円から7千円に引き上げると同時に、加算額を現行の年間9回から12回にすることになりました(現行6千円が8千円に)。国家公務員全体で2万人以上が子供の教育等で単身赴任せざる状況では、二重生活の負担増は変わりません。国税庁も単身の多い職場であり、負担軽減からも単身赴任は縮小すべきです。

### 行(二)職の官民比較は断念

当初人事院は、企業に直接雇用されている自動車運転手の調査を行い、職務給与との官民比較を行うとしてきましたが、人事院は給与水準のサンプルが少なく地域による差を大きいこと等を理由に、官民格差の見直しを断念し、引続き検討するとしました。問題は官民比較が出来ないと言って、行(二)職員の給与も引き下げたことです。全国税は本院交渉でも、行(二)職員の不補充政策による労働強化や、低い賃金水準改善を訴えてきました。また、国税当局にも、行(二)組合員の交渉を通じ、労働条件の改善を要求しています。付加業務を評価すると言いますが、部下数制限の壁は破れません。行(二)待遇を求め、全国税に加入し、一緒に闘いましょう。

# 訃報

### 分会機関紙「こまき」より一部を転載

大野仁さんは本部青年部、東海地連の書記長や副委員長、愛知支部長など、各機関すべてを歴任されました。

彼と初めて会った頃、分裂後の差別政策は顕著で、全国税に加入すれば、仲間外れが当然のように行われていました。筆者もまた差別を恐れ、是非を問わず、名連協に席を置いていました。

職場の全国税組合員に誘われ、大野さん（心情は四つ年下のため、大野君でしたが）を紹介されました。

彼が語る組合像は私には衝撃でした。『税大研修中に、高校の先輩に勧められ、その通りと思い加入しました。当然、二組には加入していません。』アッケラカンとして、そして目が輝いていました。時間を経て全国税に参加しましたが、彼の輝きが加入の引き金の一つであったと思われます。

大野さんは、生涯の全てを職場の民主化と労働条件改善のために活動されました。人には見せぬ苦労もあったと思いますが、弱音を吐くことなく、私と会った当時の輝きをそのまま、闘う姿勢を貫きました。

無念の思いが強いですが、彼の姿勢に学ばねばなりません。『差別や孤立を恐れず、正しいと信ずる思いを大切に生きること』『歪められた職場は続かない、いずれ夜は明ける』と。

**仁ちゃん　さようなら　そしてありがとう**

かねてより病気療養中でした東海地連千種分会の大野仁さんが亡くなられました。心よりご冥福をお祈りします。

### 全国からも哀悼の意

大野さんは青年部時代から私たち普通科32期の中で運動の先頭に立ち、全国の仲間に東海に大野仁ありと知られていました。その人柄と名古屋人独特のしゃべりで分かりやすく展望を語る、その雰囲気に私たちが引き込まれる、楽しく、そして頼れる人でした。

病に伏しているとの報以降は会うこともなく、60歳という若さでの訃報は本当に残念です。

改めて、ご家族と東海地連の皆様に哀悼の意を表します。

元全国税委員長・増山満樹

# 北から南から

### 職場の声

**【愛知東・岐阜支部】**

異動があって一段落、早くも「お盆前までに1人何件は着手せよ」とのご指示。猛暑の中、職場では「異動のストレスを感じている暇も無いわいな」など職場で聞かれます、こんな時期の職場の声をお知らせします。

**A**　(徴収職員)「未納のお知らせ」送付は、かつては滞納者への文書催告の目的であった。小額滞納者に対しても一定の接触ができた。しかし、現在の目的は「徴収職員の不正を暴く」ことに主眼が置かれている。徴収職員の着服を暴く目的である。だから担当者を取替えて作業し、納税者の問い合わせも担当者以外の職員が受付する。この事務は抽出日と発送日との差で未納額に差異が発生しトラブルの元である。また事務を停滞させている。職員を疑うのであれば、この作業自体を局がやるべきだ。

**B**　昨年あたりから、異動前に事前通知を実施することになりました。手続きでは、調査担当者を名乗ることになっていますが、その際「だれが行くか判らないのですが……」と言って通知するのだそうです。

調査担当者が判らないのに、事前通知して良いのでしょうか。

**C**　今年から調査支援内部事務担当者が設置されるんだって。

**D**　その分1人当たりの件数が増えなきゃいいが。局は理屈でくるからねえ。

**E**　異動直後もうこんなにたくさんの指令件数貰っちゃった、これって12月までの件数だよねぇ？　絶対そうだ！

### 発令是正に歓迎の声

**【北海道地連】**

7月10日に、今年の発令が行われました。

「昨年、共働き職員が地方にとばされたが、今年は是正があった」、「遠距離通勤者が一年で解消された」、「民借者に予告日前に異動の有無を伝えた」などと、職場から歓迎の声が上がっています。

反面、新たな単身赴任や共働き職員の地方異動が発生しています。

「より細かな身上把握」では、職員の健康や生活などを守るのには、限界に来ていることが明らかになっています。

### 5年で10％以上

**【東海・名古屋中村分会】**

政府は7月25日、国家公務員の定員を2015年度から5年間で10％以上削減・配転する定員削減・配転の新たな定員削減計画を閣議決定しました。率が最も高いのは農水省で3175人（全体の14・2％）を削減。政府全体で29672人（10％）を合理化する。続いて総務省、国交省、厚労省などです。「国税は分母がでかいので、削減数もばかにならないのでは」の声が出ています。

# 詰将棋

**〈解答〉**

**▲3二金△1二玉▲1一桂成△同玉▲2二金△同玉▲2三歩△1一玉▲1二香△同玉▲3二竜△1一玉▲2二歩成まで13手詰。**

**〈解説〉**

**▲3二金で△1二玉と追い、▲1一桂成と香を取って、次の5手目▲2二金が決め手で、▲2三歩以下は手順の追詰です。**